



施設長 挨拶



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。さて、昨年は年明け早々から広島県にも「まん延防止等重点措置」が適用となり、その後も八月、十二月に感染の急拡大がみられる中、当園におきましても令和二年・三年を上回るほどに、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける一年となりました。園内でも複数の感染事例が発生し、その都度、利用者様、ご家族様、関係各位の皆様方に多大なるご心配とご迷惑をお掛けしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

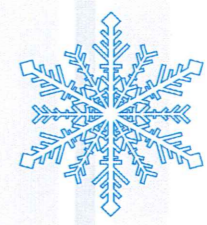
令和二年に「コロナ禍」という言葉が生まれて以降、当園ではこれまで徹底して感染対策を取り組んでまいりました。園内での基本予防策にも外出や面会の制限等にご協力いただき、職員に「日常生活動においても自身の社会的役割を認識した節度ある行動を心掛けてきました。その中で、園内において利用者様や職員が新型コロナウイルスに感染する現実を前に、昨年とは異なる状況がある。自身が戸惑いや不安を覚えたのも正直なところでは、しかしながら、そのような私生活の中も察してか、また私を奮い立たせようとするところへ勇猛果敢に立ち向かい、利用者様の生活を守り切ってくれました。コロナ禍への対応を通じて、奇しくも職員を持つ施設職員としての使命感の高さや、利用者様一人ひとりを大切にする心、在り様を、私自身が再認識したところでもあります。

新型コロナウイルス感染症につきましても、これまで「見守り」の姿勢で、予防策を徹底し、この先、今後は園内での感染の発生を徹底し、限りなくゼロを目指します。一方で、意識を高め、必要となる「新しい生活の形」や「守らるべき行動の質」について創造的に考え、具体的に「職員一丸となり、取り組みを推進し、支援、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

施設長 山本 亮介

令和5年
1月発行
第150号
千歳園
広報委員会

特養



今月も生け花を行い、学びに来られていた実習生と一緒に写真を撮られました。若い世代の方と接することができ、とても穏やかな笑顔を浮かべておられました。

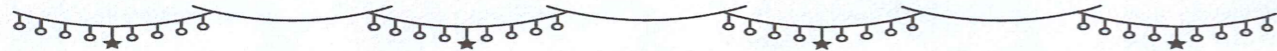
クリスマス飾りつけを行うことで、季節を感じていただくとうとツリーを設置いたしました。「クリスマスツリーがある」と嬉しそうに話され、笑っておられました。

また、特養フロアの掲示物をクリスマスの物に変え、雰囲気を作り、皆様に楽しんでいただきました。外に出る機会が減り、どうしても運動不足になりがちですので、生活リハビリとして、自身で運動の出来る方は滑車を使った運動をしていただいでいて、日常生活動作の維持に努めております。

また、コロナ禍で毎日大きな変化のない生活が続くがちになっております。気分転換に漢字の書き取りを提案すると、「やってみたい」とおっしゃられました。とても集中して書き取っておられました。良い刺激になったように思います。これから利用者様の生活のハリになるように、色々なことを提案させていただきます。

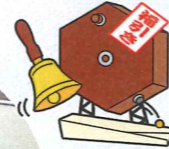


養護 お楽しみ会



コロナウイルス感染症予防のため、昨年は様々なクラブ活動や行事が中止、延期となってしまいました。そのような中でも養護では、ご利用者の方々に少しでも喜んでいただけるよう、毎月お楽しみ会を企画し、色々なお菓子を提供させていただきました。普段と違った特別なお菓子を喜んでいただけた時の表情を拝見すると、我々職員一同も嬉しくなります。

持ち込みの食料に禁止が多く、ご利用者の方、ご家族の方にもご不便をおかけしているとは存じますが、今後ご利用者の方に喜んでいただけるお食事やお菓子の企画を考えております。より一層感染症予防にも注力し、皆様の健康維持に取り組んで参ります。



医務室



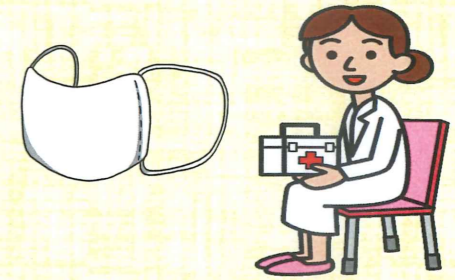
コロナによるマスク生活も早4年、無意識に口呼吸をしていませんか？マスクの息苦しさだけでなく、見えないからついマスクの下で口を開けている、という人は注意が必要です。

口呼吸をすると、のどや気管は乾燥し、気管に直接ウイルスなどが入ってくるので、感染症にかかりやすくなります。また、口呼吸は虫歯や歯周病の原因になることや、睡眠時無呼吸症候群になりやすくなるなどのデメリットが知られています。口呼吸チェックで1つでも当てはまるかたは、口呼吸をしている可能性があります。苦しいときには無理をする必要はありませんが、「鼻呼吸」を意識しましょう。

【口呼吸チェック】

- 口の中が乾きやすい
- 唇がよく乾く
- 鼻詰まりがある
- いびきをかく
- 朝起きたときに、のどがイガイガする
- 無意識に口が開いている

(慢性的に鼻呼吸がうまくできないときは、病院に相談しましょう。)



居宅介護支援事業所

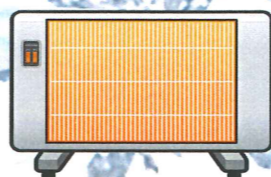


寒さ厳しい季節となりました。このような時季に気を付けたいのが「ヒートショック」です。

「ヒートショック」とは、急激な室温変化で血圧が大きく変動する健康被害のことです。

私たちケアマネジャーは在宅のご利用者様の支援をさせていただいています。在宅で過ごされるご利用者様は、24時間室温を一定にしている施設のご利用者様と違い、温かい部屋から寒い部屋の移動による寒暖差があることや、寒い屋外への外出の機会も多いと思います。

ご利用者様には、屋外に出る場合はしっかり防寒対策を行う、入浴時には脱衣室をしっかりと温めておく等、寒暖差による「ヒートショック」が起こらないように、しっかりお声掛けさせていただきます。



デイサービスセンター



久しぶりに書道の日を設けて皆さんに腕をふるっていただきました。「久々に筆を持った!」「上手に書けるかな?」と心配そうな様子がありましたが、書き始めると楽しそうに文字を書いていた。思い思いに字を書くと、嬉しそうに職員や周りのご利用者で見せ合う姿がとても印象的でした。またやって欲しいとの声が多くあったので、今後も余暇の時間で提供できるようにしていきます。



令和四年 十月十二月
苦情結果報告
苦情件数 ○件